



感謝をするということ

校長

6月14日に芸術鑑賞会を実施しました。お招きしたのは「CoCoRo*Co」というゴスペルのチームです。

ゴスペルは「福音(God Spell)音楽」とも言われ、アメリカに奴隷として連行されたアフリカ人がその苦しい状況下で福音と出会い、神を賛美する音楽を奏でるようになったのがルーツと言われています。

独特なうねりがある、聞き慣れない音楽に子どもたちは興味津々でした。また、子どもたちの反応の良さと一緒に歌う校歌の元気良さにCoCoRo*Coの皆さんも驚いていました。

神様といえば、6月19日は、児童を代表して6年生と「プール開き式」を行いました。プールでの安全祈願をするにあたり、祝詞のことや神社のことを改めて調べてみたところ、軽い衝撃を受けました。

「神社は願い事をする場ではなく、感謝を伝えに行くところ」というではありませんか。これはどういうことなのでしょう。願い事をしないと、安全祈願とは何なのでしょう。

いろいろと調べた中で、腑に落ちたものは「神様にお願いするのではなく、神様の前で誓いを立てることで、神様からのお力添えをいただくことができる。そして日頃からお力添えをいただいていることについて感謝の気持ちを伝えるのが神社である。」というものです。

キリスト教やイスラム教に代表される一神教は、神様との契約に基づいて「これをしなさい」あるいは「これをしてはいけない」というものが必ずあるように思います。しかし、神道にはそのようなものがない、といいます。きまりやルールではなく、道徳のように心のあり方を示すものが神道のようなのです。

そのように考えると、プール開きにおける安全祈願のあり方が見えてきます。すなわち「自分たちはやりたいように水遊びをするけれど、事故のないようにお願いしますね。」というような一方的な願いは、神様にとても失礼であること。そして「私たちはきちんと健康観察をして、準備運動をして水に入ります。プールでのルールをきちんと守ることをここに誓います。不慮の事故が起こらぬよう、神様のお力添えをお願いします。」という気持ちのあり方が大切なのだ、ということです。

「お陰様」という言葉にも同じようなニュアンスを感じますが、日本人の心の中には、いつも「感謝」があったのかもしれません。大切にしていきたい精神です。



お知らせとお願い

引き渡し訓練にご協力ありがとうございました！

6月23日の、引き渡し訓練にご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様の迅速なご対応のおかげで、80分という短い時間で全校児童の引き渡しを完了することができました。

南海トラフを震源地とする巨大地震の20年以内の発生確率が「60%程度」といわれています。学校でも児童に災害への対応を指導していきますが、ご家庭におかれましても話題にさせていただきますようお願いいたします。



通学路点検へのご意見を市に伝えてまいります。

お子さまの通学路に関する調査へのご協力、ありがとうございました。55名の保護者の方から、通学路に関するご意見をいただきました。

7月25日にはPTA担当の方と学校職員とで実際に現地に行き、なぜ危険なのか、どのように対処すればより安全が保たれるのか意見を交換します。それをもとに、市教育委員会へ環境整備のお願いをしていきます。

今後とも児童の安全についてご意見をいただけたらと思います。



本校の「相談箱」をご存じですか？

本校の保健室前の廊下に「相談箱」があります。この箱は、子どもたちが、何か困っていることがある時や相談したいことがある時に、手紙を入れることになっていて、毎日養護教諭が開けて、中を確認しています。

もちろん、学級担任や友達、家族に直接相談することも重要です。

しかし、なかなか直接訴えるのは難しい場合、この相談箱が役立ちます。今年度も、すでに複数の手紙を受け取り、悩み事の相談をじっくりと聞き、「今後はこうしていこう。」と解決の道を見つけることができました。

本校では養護教諭だけでなく、「悩み事相談員」が5名います。個別面談の際には、困ったときの外部相談場所として電話番号等が載っているプリントを配布しました。悩みや不安は、自分だけで抱え込まず、近くの人に相談してほしいと思います。

7月21日から長期の休みに入ります。子どもたちにとっては、日常の学校生活よりは、ゆったりとしたペースで時間が流れていくと思いますので、これをきっかけにお子さんとじっくりお話しする機会を作っていただければと思います。



ホームページでは、学校だよりをカラーで御覧いただけます。

<http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/es-asahichuou/ichiran/index.html>